



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月12日

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所 東
コード番号 2497 URL <https://united.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 与規
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 山下 優司 (TEL) 03(6821)0000
定時株主総会開催予定日 2025年6月17日 配当支払開始予定日 2025年6月18日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月18日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	12,035	△4.3	2,646	△45.5	2,577	△46.6	1,480	△37.4
2024年3月期	12,573	△4.3	4,859	△16.6	4,829	△17.5	2,366	△42.8

(注) 包括利益 2025年3月期 △574百万円(—%) 2024年3月期 △1,886百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	37.71	37.69	6.7	10.0	22.0
2024年3月期	60.44	60.35	9.5	16.4	38.6

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 △5百万円 2024年3月期 △21百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	24,842	21,770	84.7	535.75
2024年3月期	26,745	23,540	87.2	594.54

(参考) 自己資本 2025年3月期 21,046百万円 2024年3月期 23,310百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	1,380	△237	△1,516	12,611
2024年3月期	2,085	△1,134	△1,336	12,985

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00	1,881	79.4	7.6
2025年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00	1,885	127.3	8.5
2026年3月期(予想)	—	11.50	—	11.50	23.00		—	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	10,000	△16.9	△1,200	—	△1,250	—	△1,400	△36.00

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) (株)グローバルアシストホールディングス、除外 1 社 (社名) (株)グローバルアシストホールディングス
(株)ベストコ

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

当連結会計年度において、(株)グローバルアシストホールディングスの株式を取得し、同社及びその子会社である(株)ベストコを連結の範囲に含めております。また、その後(株)ベストコは(株)グローバルアシストホールディングスを吸収合併したことにより、(株)グローバルアシストホールディングスは消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	40,412,690株	2024年3月期	40,412,690株
② 期末自己株式数	2025年3月期	1,128,403株	2024年3月期	1,204,628株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	39,261,652株	2024年3月期	39,152,184株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,951	△24.4	2,930	△40.2	2,969	△48.1	1,474	△29.5
2024年3月期	6,550	△7.4	4,904	△11.4	5,717	3.2	2,089	△44.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	37.55	37.53
2024年3月期	53.37	53.29

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	20,144	19,640	96.9	496.72
2024年3月期	23,909	22,147	91.7	559.50

(参考) 自己資本 2025年3月期 19,513百万円 2024年3月期 21,937百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料5ページ「今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

2025年5月12日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(重要な会計上の見積り)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善される中で、インバウンド需要の増大もあり緩やかに回復している一方、米国の関税政策、円安によるエネルギー価格の高騰、中東・ウクライナ等の情勢など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、投資事業、教育事業及び人材マッチング事業を、今後の成長をけん引するコア事業として設定しております。そして、コア事業間での連携を強化し、シナジーを創出することで、独自性のある強みを築き、企業価値の最大化を目指してまいります。

具体的なコア事業間の取り組みとして、教育事業でデジタル人材を育成し、人材マッチング事業において、育成したデジタル人材と投資事業における投資先スタートアップのマッチングを行うことで、投資先のバリューアップを図ってまいりました。

当連結会計年度の経営成績は、投資事業において保有有価証券の売却量が前期比で減少したこと等により、売上高は12,035,735千円(前年同期比4.3%減)、営業利益は2,646,466千円(前年同期比45.5%減)、経常利益は2,577,207千円(前年同期比46.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,480,452千円(前年同期比37.4%減)となりました。

なお、第3四半期連結会計期間より、教育事業における既存領域の強化を図るため、キラメックス㈱及び㈱ブリュアスを経営統合する取締役会決議を行ったことに伴い、㈱ブリュアスをアドテク・コンテンツ事業から教育事業に変更しております。以下の前年同期比較については、変更後の区分方法により作成しております。

① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資等を行っております。

当連結会計年度は、保有有価証券の売却量が前期比で減少したこと等により、売上高は4,974,755千円(前年同期比25.0%減)、セグメント利益は3,907,427千円(前年同期比34.0%減)となりました。

② 教育事業

教育事業は、オンライン教育事業を運営するキラメックス㈱、スマートフォン向けアプリ開発事業を運営する㈱ブリュアス及び個別指導学習塾事業を運営する㈱ベストコにより構成されております。

当連結会計年度は、オンラインプログラミングスクール「テックアカデミー」の受講者数が減少した影響及び㈱ブリュアスの開発案件数の減少により、売上高は1,781,013千円(前年同期比0.7%減)、セグメント損失は438,585千円(前年同期はセグメント損失33,911千円)となりました。

③ 人材マッチング事業

人材マッチング事業は、スカウト送信代行、採用支援等のRPO(採用代行サービス)事業、人材紹介事業を運営するユナイテッド・リクルートメント㈱(2024年7月1日付でイノープ㈱から商号変更)及びデザイナー特化型マッチング事業を運営する㈱リベイスにより構成されております。

当連結会計年度は、人材紹介事業・デザイナー特化型マッチング事業の成長及び前期に実施したのれんの減損処理により、のれん償却費が減少した影響等により、売上高は662,019千円(前年同期比28.0%増)、セグメント損失は155,828千円(前年同期はセグメント損失421,045千円)となりました。

④ アドテク・コンテンツ事業

アドテク・コンテンツ事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通した様々なサービスを提供しており、ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ㈱、フォッグ㈱及び㈱インターナショナルスポーツマーケティングにより構成されております。

当連結会計年度は、フォッグ㈱の主力事業であるオンラインくじの成長により、売上高は4,622,338千円(前年同期比26.9%増)となりましたが、コンテンツ事業の原価増及びアドテクノロジー事業における取扱高の減少等の影響により、セグメント利益は323,891千円(前年同期比11.5%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,902,628千円減少し、24,842,451千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、投資先株式を売却した一方、投資事業における新規投資等により、前連結会計年度末に比べ373,733千円減少しております。
- ・営業投資有価証券は、投資先株式の売却及び時価評価により、前連結会計年度末に比べ134,567千円減少しております。
- ・のれんは、減損損失の計上があった一方、ベストコ㈱の株式取得により、前連結会計年度末に比べ432,386千円増加しております。
- ・デリバティブ債権は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の終了により、前連結会計年度末に比べ2,263,379千円減少しております。
- ・投資その他の資産は、㈱ベストコの子会社化等により、前連結会計年度末に比べ157,909千円増加しております。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ132,383千円減少し、3,072,191千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・買掛金は、フォッグ㈱の主力事業であるオンラインくじの成長等により、前連結会計年度末に比べ260,925千円増加しております。
- ・未払法人税等は、投資先株式の売却等による課税所得の発生額が前期比で減少したため、前連結会計年度末に比べ185,630千円減少しております。
- ・繰延税金負債は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の終了により、前連結会計年度末に比べ1,006,849千円減少しております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,770,244千円減少し、21,770,259千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ403,407千円減少しております。
 - ・親会社株主に帰属する当期純利益1,480,452千円の計上
 - ・剰余金の配当による1,883,859千円減少
- ・その他有価証券評価差額金は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の終了により、前連結会計年度末に比べ509,742千円減少しております。
- ・繰延ヘッジ損益は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の終了により、前連結会計年度末に比べ1,570,333千円減少しております。
- ・非支配株主持分は、㈱ベストコの株式取得等により、前連結会計年度末に比べ577,308千円増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は12,611,361千円となり、前連結会計年度末に比べ373,733千円減少しました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,380,808千円（前年同期は2,085,441千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上2,575,083千円、営業投資有価証券の減少額684,030千円及び法人税等の支払額1,406,557千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は237,816千円（前年同期は1,134,441千円の使用）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出174,603千円及び無形固定資産の取得による支出157,718千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,516,724千円（前年同期は1,336,647千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額1,880,619千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率（％）	75.6	77.7	81.7	87.2	84.7
時価ベースの自己資本比率（％）	64.3	97.1	77.4	131.4	116.4
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率（年）	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2
インスタント・カバレッジ・ レシオ（倍）	2,323.8	1,204.8	1,928.9	1,159.9	557.06

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2026年3月期は、米国の関税政策や不安定な世界情勢の影響等で、依然として先行きが不透明な状況が続くことが予想されます。

2026年3月期においても、投資事業、教育事業及び人材マッチング事業を今後の成長をけん引するコア事業として設定し、各コア事業を通じて、社会課題の解決に取り組んでまいります。また、その他の事業につきましては、アドテク・コンテンツ事業として、引き続き各事業個別に戦略を策定し、利益創出に努めてまいります。

投資事業につきましては、これまで国内のプレシード～アーリーステージ企業を中心に、自己資金で投資を行ってきた実績で培ったソーシング力・目利き力をもとに、事業会社としての経験も踏まえた支援力を活かし、大きなポテンシャルを持った事業性と社会課題の解決の両立を目指すスタートアップへの投資を拡大してまいります。

教育事業につきましては、2025年3月期に連結子会社化した個別指導学習塾事業を運営する㈱ベストコが、学習塾需要に対して供給が不足する地方において、直営展開により質の高いサービスを低価格で提供することで、子会社化する前から継続している事業成長のスピードを加速させるとともに、㈱ブリューアスとキラメックス㈱の経営統合による事業成長により、事業規模を拡大してまいります。

人材マッチング事業につきましては、採用代行事業/人材紹介事業で得られるノウハウに、AI活用によるオペレーション効率化を掛け合わせ、費用対効果の高い採用成果を提供することで、収益基盤を構築してまいります。

また、アドテク・コンテンツ事業につきましては、前期に過去最高の売上高を更新したフォッグ㈱のさらなる成長をはじめとし、引き続き各社個別の戦略で、事業成長を目指してまいります。

以上により、2026年3月期の連結通期業績予想につきましては、売上高10,000百万円、営業損失1,200百万円、経常損失1,250百万円、親会社株主に帰属する当期純損失1,400百万円を見込んでおります。2025年3月期は投資事業で大型の有価証券売却を計上しましたが、2026年3月期は同規模の売却を見込めないため減収減益の見通しとなります。ただし、投資事業以外は増収増益の見通しであり、大型の有価証券売却が見込めない場合でも利益創出可能な状態を目指してまいります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,985,094	12,611,361
売掛金	967,929	1,094,607
営業投資有価証券	7,836,613	7,702,045
棚卸資産	33,440	30,123
デリバティブ債権	2,263,379	-
その他	308,220	318,584
貸倒引当金	△15,324	△14,990
流動資産合計	24,379,354	21,741,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	360,107	630,647
車両運搬具及び工具器具備品	185,985	271,867
減価償却累計額及び減損損失累計額	△268,911	△524,313
有形固定資産合計	277,181	378,201
無形固定資産		
のれん	76,907	509,293
ソフトウェア	298,882	342,559
その他	1,025	1,025
無形固定資産合計	376,815	852,878
投資その他の資産		
投資有価証券	1,373,335	1,364,021
関係会社株式	9,649	-
繰延税金資産	92,551	134,993
敷金及び保証金	202,401	296,632
その他	33,790	73,990
投資その他の資産合計	1,711,728	1,869,638
固定資産合計	2,365,725	3,100,718
資産合計	26,745,079	24,842,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	712,498	973,424
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	6,370	61,488
未払金	249,546	375,936
未払法人税等	650,519	464,888
賞与引当金	-	37,850
資産除去債務	-	9,003
その他	344,529	847,974
流動負債合計	2,063,463	2,870,565
固定負債		
長期借入金	51,430	96,521
資産除去債務	-	22,273
繰延税金負債	1,089,681	82,832
固定負債合計	1,141,111	201,626
負債合計	3,204,575	3,072,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	452,447	606,848
利益剰余金	18,413,837	18,010,430
自己株式	△963,119	△898,112
株主資本合計	20,826,184	20,642,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	914,162	404,420
繰延ヘッジ損益	1,570,333	-
その他の包括利益累計額合計	2,484,495	404,420
新株予約権	210,665	127,187
非支配株主持分	19,158	596,467
純資産合計	23,540,504	21,770,259
負債純資産合計	26,745,079	24,842,451

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	12,573,853	12,035,735
売上原価	4,464,161	5,831,275
売上総利益	8,109,692	6,204,460
販売費及び一般管理費	3,250,114	3,557,994
営業利益	4,859,577	2,646,466
営業外収益		
受取利息	4,503	23,917
受取配当金	6	255
為替差益	3,715	-
未払配当金除斥益	1,072	1,568
暗号資産評価益	13,425	7,186
事務所移転費用戻入益	6,270	-
受取解決金	2,780	-
その他	8,752	8,341
営業外収益合計	40,527	41,269
営業外費用		
支払利息	1,923	2,324
持分法による投資損失	21,149	5,141
為替差損	-	1,893
控除対象外消費税等	7,382	12,343
支払奨励金	37,266	85,226
その他	2,593	3,599
営業外費用合計	70,315	110,529
経常利益	4,829,789	2,577,207
特別利益		
投資有価証券売却益	23,347	22,013
新株予約権戻入益	-	83,478
段階取得に係る差益	-	492
特別利益合計	23,347	105,984
特別損失		
減損損失	770,075	55,548
投資有価証券評価損	22,743	50,768
段階取得に係る差損	580	-
その他	-	1,791
特別損失合計	793,400	108,107
税金等調整前当期純利益	4,059,737	2,575,083
法人税、住民税及び事業税	1,699,429	1,083,934
法人税等調整額	△29	△14,657
法人税等合計	1,699,400	1,069,277
当期純利益	2,360,336	1,505,806
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失 (△)	△5,959	25,354
親会社株主に帰属する当期純利益	2,366,296	1,480,452

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	2,360,336	1,505,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,020,280	△509,742
繰延ヘッジ損益	△1,226,988	△1,570,333
その他の包括利益合計	△4,247,268	△2,080,075
包括利益	△1,886,931	△574,268
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,892,891	△548,914
非支配株主に係る包括利益	5,959	△25,354

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,923,019	379,270	17,437,075	△1,068,576	19,670,789
当期変動額					
剰余金の配当			△1,389,534		△1,389,534
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,366,296		2,366,296
自己株式の取得					—
自己株式の処分		18,850		105,456	124,306
連結子会社の増資による 持分の増減		53,329			53,329
連結子会社株式の取得 による持分の増減		996			996
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	73,176	976,762	105,456	1,155,395
当期末残高	2,923,019	452,447	18,413,837	△963,119	20,826,184

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	3,934,443	2,797,321	6,731,764	222,743	21,751	26,647,048
当期変動額						
剰余金の配当						△1,389,534
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,366,296
自己株式の取得						—
自己株式の処分						124,306
連結子会社の増資による 持分の増減						53,329
連結子会社株式の取得 による持分の増減						996
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,020,280	△1,226,988	△4,247,268	△12,077	△2,593	△4,261,939
当期変動額合計	△3,020,280	△1,226,988	△4,247,268	△12,077	△2,593	△3,106,544
当期末残高	914,162	1,570,333	2,484,495	210,665	19,158	23,540,504

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,923,019	452,447	18,413,837	△963,119	20,826,184
当期変動額					
剰余金の配当			△1,883,859		△1,883,859
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,480,452		1,480,452
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の処分		△1,953		65,010	63,057
連結子会社の増資による 持分の増減		234,111			234,111
連結子会社株式の取得 による持分の増減		△119,350			△119,350
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		41,592			41,592
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	154,400	△403,407	65,006	△184,000
当期末残高	2,923,019	606,848	18,010,430	△898,112	20,642,184

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	914,162	1,570,333	2,484,495	210,665	19,158	23,540,504
当期変動額						
剰余金の配当						△1,883,859
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,480,452
自己株式の取得						△4
自己株式の処分						63,057
連結子会社の増資による 持分の増減						234,111
連結子会社株式の取得 による持分の増減						△119,350
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動						41,592
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△509,742	△1,570,333	△2,080,075	△83,478	577,308	△1,586,244
当期変動額合計	△509,742	△1,570,333	△2,080,075	△83,478	577,308	△1,770,244
当期末残高	404,420	—	404,420	127,187	596,467	21,770,259

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,059,737	2,575,083
減価償却費	151,030	172,374
減損損失	770,075	55,548
のれん償却額	153,540	52,317
株式報酬費用	61,772	58,831
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,337	△334
受取利息及び受取配当金	△4,510	△24,173
支払利息	1,923	2,324
持分法による投資損益 (△は益)	21,149	5,141
投資有価証券評価損	22,743	50,768
固定資産除却損	-	1,791
売上債権の増減額 (△は増加)	99,941	4,229
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,066	242,064
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△813,381	△684,030
その他	△189,814	233,004
小計	4,296,804	2,744,941
利息及び配当金の受取額	4,510	24,173
利息の支払額	△1,797	△2,478
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,214,075	△1,385,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,085,441	1,380,808
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,830	△48,328
無形固定資産の取得による支出	△147,636	△157,718
投資有価証券の取得による支出	△1,000,000	-
投資有価証券の売却による収入	23,493	142,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△34,657	△174,603
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	22,993
その他	35,189	△22,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,134,441	△237,816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△47,820	△20,272
配当金の支払額	△1,386,807	△1,880,619
ストック・オプションの行使による収入	40,286	-
非支配株主からの払込みによる収入	57,696	349,411
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	59,949
その他	△3	△25,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,336,647	△1,516,724
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△385,648	△373,733
現金及び現金同等物の期首残高	13,370,743	12,985,094
現金及び現金同等物の期末残高	12,985,094	12,611,361

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

1. のれんの評価

(1) 連結財務諸表に計上した金額

	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
のれん	76,907	509,293

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

のれんは、取得による支配獲得時に、取得した当該事業により今後期待される超過収益力に関連して発生しており、その効果の発現する期間を見積り、その期間で均等償却しております。

その資産性については、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、支配獲得時に識別した超過収益力の評価も踏まえ、減損の兆候の有無を検討しております。減損の兆候を識別した場合には、将来の事業計画を基礎に算定されたのれんの残存償却期間内の割引前将来キャッシュ・フローと帳簿価額を比較して減損損失の認識の可否を判定しております。減損損失の認識が必要と判定された場合、のれんについては、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しております。

割引前将来キャッシュ・フローの見積りの基礎となる事業計画等には、収益及び費用の予測について重要な仮定が含まれております。

当該仮定について、将来の不確実な経済条件の変動等により見直しが必要となった場合、将来キャッシュ・フローや回収可能価額が減少した場合には、翌連結会計年度の連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

2. 市場価格のない非上場株式等の評価

(1) 連結財務諸表に計上した金額

	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
営業投資有価証券のうち非上場株式等	3,830,012	4,421,438
投資有価証券のうち非上場株式等	383,438	343,139
売上原価(営業投資有価証券評価損)	262,980	351,683
投資有価証券評価損	22,743	50,768

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

市場価格のない非上場株式等の評価については、投資先企業の1株当たりの純資産額に超過収益力を反映させたものを実質価額とし、当該実質価額が取得原価に比べて50%以上低下した場合には、回復可能性が十分な根拠により裏付けられる場合を除き減損処理を行っております。

なお、超過収益力については、投資先の事業進捗及び資金調達実績等を踏まえて毎四半期ごとに判断しておりますが、投資先の経営環境の変化や事業進捗の状況により見直しが必要となった場合には、翌連結会計年度の連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各セグメントに属する事業の種類は以下のとおりであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

① 投資事業

スタートアップ企業への投資、ファンド運営等

② 教育事業

オンライン教育事業、スマートフォン向けアプリ開発事業、個別指導学習塾事業

③ 人材マッチング事業

スカウト送信代行、採用支援等のRPO（採用代行サービス）事業、人材紹介事業、デザイナー特化型マッチング事業

④ アドテク・コンテンツ事業

広告主・広告代理店向け広告配信プラットフォーム及びメディア向け広告管理プラットフォームの企画・開発・運営、デジタルコンテンツ等の企画・制作・運営、ファンビジネス事業、スポーツマーケティング事業等

第3四半期連結会計期間において、㈱グローバルアシストホールディングス（現㈱ベストコ）（個別指導学習塾事業を運営）の株式を取得し子会社化したことにより、教育事業に含めております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法とおおむね同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第3四半期連結会計期間より、教育事業における既存領域の強化を図るため、キラメックス㈱及び㈱ブリューアスを経営統合する取締役会決議を行ったことに伴い、㈱ブリューアスをアドテク・コンテンツ事業から教育事業に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	1,780,913	514,485	3,642,713	5,938,112	—	5,938,112
その他の収益	6,635,741	—	—	—	6,635,741	—	6,635,741
外部顧客への 売上高	6,635,741	1,780,913	514,485	3,642,713	12,573,853	—	12,573,853
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	13,049	2,705	—	15,754	△15,754	—
計	6,635,741	1,793,962	517,190	3,642,713	12,589,608	△15,754	12,573,853
セグメント利益 又は損失(△)	5,924,120	△33,911	△421,045	366,015	5,835,179	△975,601	4,859,577
セグメント資産	10,728,316	541,050	607,949	2,519,365	14,396,682	12,348,397	26,745,079
その他の項目							
減価償却費	—	19,112	137	93,983	113,233	37,796	151,030
のれんの償却額	—	13,457	140,082	—	153,540	—	153,540
のれんの 未償却残高	—	30,279	46,627	—	76,907	—	76,907
持分法適用会社 への投資額	—	—	—	—	—	9,649	9,649
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	—	19,124	166	130,728	150,019	5,555	155,575

(注) 1. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△975,601千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、当社の管理部門等に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額12,348,397千円は、主として、当社での余資運用資金、管理部門等に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	1,778,907	659,734	4,622,338	7,060,980	—	7,060,980
その他の収益	4,974,755	—	—	—	4,974,755	—	4,974,755
外部顧客への 売上高	4,974,755	1,778,907	659,734	4,622,338	12,035,735	—	12,035,735
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	2,105	2,285	—	4,391	△4,391	—
計	4,974,755	1,781,013	662,019	4,622,338	12,040,127	△4,391	12,035,735
セグメント利益 又は損失(△)	3,907,427	△438,585	△155,828	323,891	3,636,905	△990,439	2,646,466
セグメント資産	8,345,425	2,389,699	407,284	3,605,896	14,748,305	10,094,145	24,842,451
その他の項目							
減価償却費	—	34,489	130	103,243	137,863	34,510	172,374
のれんの償却額	—	39,377	12,940	—	52,317	—	52,317
のれんの 未償却残高	—	509,293	—	—	509,293	—	509,293
持分法適用会社 への投資額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	—	37,038	—	161,307	198,345	9,645	207,990

(注) 1. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△990,439千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、当社の管理部門等に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額10,094,145千円は、主として、当社での余資運用資金、管理部門等に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア	その他	合計
12,119,133	417,390	7,586	28,802	940	12,573,853

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
みずほ証券㈱ (株式売却収入)	5,780,655	投資事業

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア	その他	合計
11,694,959	328,447	474	11,576	278	12,035,735

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
みずほ証券㈱ (株式売却収入)	3,266,549	投資事業
三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱ (株式売却収入)	1,433,521	投資事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業 (注)	アドテク・ コンテンツ事業	計	調整額	連結損益 計算書計上額
減損損失	—	—	730,307	39,768	770,075	—	770,075

(注) 人材マッチング事業において、のれんの減損損失730,307千円を計上しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業 (注)	アドテク・ コンテンツ事業	計	調整額	連結損益 計算書計上額
減損損失	—	19,892	35,656	—	55,548	—	55,548

(注) 人材マッチング事業において、のれんの減損損失35,656千円を計上しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業	計		
当期償却額	—	13,457	140,082	—	153,540	—	153,540
当期末残高	—	30,279	46,627	—	76,907	—	76,907

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業	計		
当期償却額	—	39,377	12,940	—	52,317	—	52,317
当期末残高	—	509,293	—	—	509,293	—	509,293

(注) 教育事業において、㈱グローバルアシストホールディングス(現㈱ベストコ)の株式を取得し子会社化したことにより、のれんの金額が492,471千円増加しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	594.54円	535.75円
1株当たり当期純利益金額	60.44円	37.71円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	60.35円	37.69円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,366,296	1,480,452
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,366,296	1,480,452
普通株式の期中平均株式数(株)	39,152,184	39,261,652
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	57,292	22,094
(うち新株予約権)(株)	(57,292)	(22,094)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	新株予約権1種類 (新株予約権の数600個)

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当連結会計年度末 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	23,540,504	21,770,259
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	229,824	723,654
(うち新株予約権(千円))	(210,665)	(127,187)
(うち非支配株主持分(千円))	(19,158)	(596,467)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	23,310,680	21,046,605
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	39,208,062	39,284,287

(注) 当社は、2023年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり情報の各金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(重要な後発事象)

連結子会社間の吸収合併

当社は、当社の連結子会社であるキラメックス㈱を存続会社とし、当社の連結子会社である㈱ブリューアスを消滅会社とする吸収合併を2025年4月1日付で実施いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業（存続会社）

名称： キラメックス㈱

事業内容： オンライン教育事業

被結合企業（消滅会社）

名称： ㈱ブリューアス

事業内容： スマートフォン向けアプリ開発事業

② 企業結合日

2025年4月1日

③ 企業結合の法的形式

キラメックス㈱を存続会社、㈱ブリューアスを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

㈱ブリューアス

⑤ その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社が保有する経営資源を一体化し提供サービスの価値向上を図ることで、当社グループのコア事業である教育事業における既存領域の強化を目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。